

福井市成和中学校 いじめ防止基本方針

平成26年4月 1日策定
 平成27年4月10日改訂
 平成28年4月11日改訂
 平成29年4月25日改訂
 平成30年4月16日改訂
 平成31年4月10日改訂
 令和 2年4月 1日改訂
 令和 3年4月 1日改訂

前文

いじめは、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長および人格の形成に重大な影響を与えるだけでなく、その生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあります。いじめをなくすには、「いじめは絶対に許されない」、「いじめは卑怯な行為である」ことを生徒が十分に理解することが大切です。

この基本方針は、本校におけるいじめ防止に係る基本的理念および責務を明らかにするとともに、いじめ防止および解決を図るための基本となる事項を定めることにより、生徒が安心して生活し、学ぶことができる環境をつくるためのものです。

1 いじめの防止等の対策に関する基本理念

- 一人ひとりが互いの人格の尊厳を大切にし、相互に尊重し合う社会を実現するため、生徒が自分自身を大切にし、他者を思いやり、互いに助け合う「心の教育」と、そうした心に従い、勇気を持って行動できる人として育てることを重視します。
- すべての生徒が、まず、どんなことがあってもいじめを行わないこと、いじめを認識しながらこれを放置しないこと、いじめが、いじめられた生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、十分に理解できるように努めます。
- 生徒が安心して学校生活を送り、学習その他の活動に心豊かに取り組むことができるよう、いじめをなくすことを目的に、市、教育委員会、学校、家庭、地域および諸機関の関係者が連携して、いじめの防止等の対策に全力で取り組みます。

2 いじめの定義と判断

- 「いじめ」とは、当該生徒と一定の人的関係にある他の生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）により、当該行為の対象となった生徒が心身の苦痛を感じているものを指します。
- けんかやふざけ合いであっても、見えない所で被害が発生している場合もあるため、背景にある事情の調査を行い、生徒の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否かを判断します。

3 いじめの防止等のための具体的取組**（１）「思いやりや助け合いの心をもって行動できる」子どもを育てる教育**

- 生徒の多面的な能力を引き出し、ほめて伸ばす教育を進めることにより、自分を大切にし、生徒同士が互いの良いところを認め合う人間力を高めます。
- 人権教育を計画的・系統的に進め、発達障害のある児童への理解等、自分だけでなく、他の人の大切さも認めることができる態度を育てます。
- 集団宿泊体験やボランティア活動等を通して生徒の絆を強め、お互いに認め合い助け合う心を育てます。
- 道徳教育を推進し、発達段階に応じた指導を系統的・計画的に行うことにより、思いやり的心や認め合い学びあう心、感謝の心を育てます。

(2) 学校評価への位置づけ

○いじめの防止等のための取組(環境づくり、マニュアルの実行、アンケート、個人面談・保護者面談の実施、校内研修の実施等)に係る項目を学校評価に位置づけ、学校におけるいじめの防止等のための取組の改善に努めます。

○評価項目

【教職員】

- ・生徒の人権意識が高まるように心がけている。
- ・生徒が自己肯定感を高め、自尊感情を育むように心がけている。
- ・学年通信等で、いじめ防止の取組みを生徒や保護者に伝えている。
- ・生徒や保護者が相談しやすい環境づくりに努めている。
- ・いじめを早期発見できるように、定期的にアンケートや面談を実施している。
- ・生徒に不適切な言動があった場合、その場で注意・指導している。
- ・いじめの行為が疑われる場合、一人で抱え込まずに、速やかに学校の「いじめ対策委員会」に報告している。
- ・いじめに係る情報が学校の中で共有され、解消に向けて組織的に対処している。
- ・マニュアルや年間行動計画にしたがって適切に対応している。
- ・いじめ防止等について、校内研修に取り組んでいる。

【生徒】

- ・いじめの行為を見聞きした場合、速やかに先生や保護者等に伝えることを心がけている。
- ・学校(先生)は、悩みや不安を相談しやすい。
- ・学校以外にも相談できるところがあることを知っている。
- ・アンケートや面談を通して、悩みや不安を先生に伝えている。

【保護者】

- ・学校は、子どもの気がかりなことを相談しやすい体制を整えている。
- ・学校は、自校の教育相談担当者を含め、複数の相談機関を紹介している。
- ・学校は、いじめ防止等のための取組を、学校ホームページや学年通信等で、生徒や保護者に伝えている。
- ・学校は、アンケートや面談を定期的実施する等、子どもの不安等を把握する取組を行っている。

(3) いじめの未然防止

○「いじめ対策委員会」の設置

いじめ対策について、指導の方策を協議し、具体的な活動を計画、実践します。

○授業改善

すべての生徒にとって、分かりやすい授業のあり方について、公開授業や授業研究を行い、生徒が楽しく学べる教育に努めます。

○いじめの起きない学校・学級づくり

異年齢交流活動を行い、生徒が安心して過ごせる「心の居場所づくり」や生徒が主体となって互いに認め合い励ましあう「絆づくり」を進めます。

○生徒の主体的活動の充実

学級活動や生徒会活動等を活用して、生徒の主体的な活動によるいじめ防止等の取組みを推進します。

○開かれた学校づくり

「開かれた学校」の観点に立ち、いじめへの対処方針や年間指導計画等、いじめ防止策に関する情報を積極的に公表し、保護者や地域住民等の理解や協力を求めます。

○インターネットや情報機器に関する指導

インターネットや情報機器(スマートフォン・携帯電話・タブレット・ゲーム機等)の利用について、学校独自のルールづくりを通して、生徒や保護者が危険性や注意点等を考える機会を設け

ます。また、国の「教育の情報化に関する手引き」等を活用し、情報モラル教育の充実に努めます。

○特に配慮が必要な生徒への支援

以下の生徒を含め、特に配慮が必要な生徒について、日常的に、当該生徒の特性を踏まえた適切な支援を行うとともに、保護者との連携、周囲の生徒に対する必要な指導を組織的に行います。

- ・発達障害を含む、障害のある生徒
- ・海外から帰国した生徒、国際結婚の保護者を持つなどの外国につながる生徒
- ・性同一性障害や性的指向・性自認に係る生徒
- ・東日本大震災により被災した児童又は原子力発電所事故により避難している生徒

○SOSの出し方に関する教育

危機的状況に対応するため、援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出すこと等）ができるための教育を行います。

（４）いじめの早期発見

○積極的ないじめの認知

生徒の表情やしぐさをきめ細かく観察するとともに、わずかな変化に対してもいじめの兆候ではないかとの疑いを持ち、積極的にいじめを認知するよう努めます。

○自己チェックの活用

生徒が日々の生活を振り返るための自己チェックを行い、それを学級担任が確認することにより、いじめ等の早期発見に努めます。

○アンケートの実施

定期的にいじめの実態調査を行い、いじめ等の問題の早期発見に努めます。

○教育相談体制の充実

学級担任による定期的な個別面談を通して、学習や人間関係の悩み等を聞き取ると同時に、適切な助言と学級全体への働きかけにより好ましい人間関係の構築を図ります。

○いじめに係る情報の記録

いじめに係る情報を適切に記録します。

○家庭や地域との連携

家庭訪問や電話連絡などを通して、日ごろから保護者との情報交換を密にするとともに地域の住民や関係団体との連携を進めることにより、家庭や地域における生徒の変化を見逃さず、いじめ等の早期発見に努めます。

○いじめ対策委員会への報告

いじめを発見し、または相談を受けた場合、速やかにいじめ対策委員会に報告し、情報を共有します。

（５）いじめの事案対処

○「いじめ対応サポート班」による対応

「いじめ対応サポート班」を立ち上げ、事実を確認の上、組織的に対応方針を決定し、被害生徒を守ります。

○被害・加害生徒への対応

いじめを受けたあるいは報告した生徒の心のケアを行い、安全を確保するとともに、いじめたとされる生徒に対して事情を確認した上で、適切な指導を行います。

○外部人材の活用と関係機関との連携

必要に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールサポーター等の専門家、警察や児童相談所、地方法務局、医療機関、民生児童委員等の関係機関と連携を取りながら、解決に向けた最善の方法を講じます。

○警察との連携

いじめが犯罪行為として取り扱われるべき場合や重大な被害等が生じる恐れがある場合は、直ちに警察に連絡し連携して対応します。

(6) いじめの解消

○いじめの解消については、少なくとも次の二つの要件を満たしているかを確認するとともに、必要に応じ、他の事情も勘案して判断します。

- ①いじめに係る行為が止んでいる状態が、相当の期間（少なくとも3か月）継続していること。
- ②被害生徒が心身の苦痛を感じていないと認められること。被害生徒本人及びその保護者に対し、面談等により確認する。

(7) いじめによる重大事態への対処

○いじめにより、「生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑い」や、「相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑い（30日間を目安とする）」があるときは、国のいじめ防止基本方針やガイドライン等にしたがって、次の対処を行います。

- ・重大事態が発生した旨を、市教育委員会を通じて地方公共団体の長に速やかに報告します。
- ・学校が調査主体になる場合は、調査組織の設置、事実関係調査、関係保護者への情報提供、市教育委員会への調査結果の報告を速やかに行います。
- ・市が調査主体になる場合は、事実関係を明確にするための調査に協力します。

4 いじめの防止等のための組織

(1) いじめ対策委員会

いじめの防止等に関して指導の方策等を協議するため、次の機能を担う「いじめ対策委員会」を常設し、定期的（月1回以上）に開催します。

（構成員）校長、教頭、教務主任、特別支援コーディネーター、生徒指導主事、学年主任
教育相談担当、特別支援学級担任、養護教諭、スクールカウンセラー 等

- （活動）
- ・未然防止を中心とした、いじめ問題対応の年間行動計画の作成
 - ・教職員、生徒、保護者等に対し、学校いじめ防止基本方針について周知
 - ・「思いやりや助け合いの心を持って行動できる」子どもを育てるための具体的な活動の計画、実践、振り返り
 - ・いじめが起きない学校・学級づくりのための「心の居場所づくり」についての協議
 - ・生徒間の「絆づくり」のための計画的な教育活動の実践
 - ・いじめ発見のためのチェックシステムの工夫と迅速な情報交換、連絡体制づくり
 - ・校内研修や学級活動のための資料収集や資料作成
 - ・計画的なアンケート調査や個人面談の計画
 - ・記録の保存（保存期間：5年）
 - ・いじめの認知
 - ・「いじめ対応サポート班」の設置
 - ・教育委員会や関係機関等との連携
 - ・学校評価への位置づけ、および学校いじめ防止基本方針に基づく取組みの点検
 - ・学校いじめ防止基本方針の見直し

(2) いじめ対応サポート班

○いじめが起きたとき、次の機能を担う「いじめ対応サポート班」を設置し、いじめの早期解決に向けた取組を行います。

（構成員）生徒指導主事、学年主任、担任、
養護教諭、教育相談担当、スクールカウンセラー 等

- （活動）
- ・当該いじめ事案の対応方針の決定
 - ・関係者からの聴取等による情報収集
 - ・いじめ対策委員会への報告、連絡、相談
 - ・被害生徒やその保護者への継続的な支援
 - ・加害生徒への指導やその保護者への説明
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家や警察、児童相談所等との連携

【いじめ防止等のための組織図】 【様式2】

【いじめ対策の年間行動計画】 【様式3】

いじめ対策委員会（常設）

校 長

教 頭

連絡：担任、部活顧問等

いじめの
情報

教務主任、特別支援教育コーディネーター、生徒指導主事、
各学年主任、教育相談担当、特別支援学級担任、養護教諭、
スクールカウンセラー 等

- ☐ 学校基本方針に基づく取組の実施
- ☐ 具体的な年間計画の作成・実行・検証・修正
- ☐ いじめの相談・通報の窓口
- ☐ いじめに関する情報（疑いを含む）や生徒の問題行動等に係る情報の収集と記録、共有
- ☐ いじめに関する情報があった時の対応
 - ・情報の迅速な共有
 - ・事実関係の確認（生徒、教職員、保護者等）
 - ・いじめの認知
 - ・教育委員会への報告・連携
 - ・いじめ対応サポート班の立ち上げ
 - ・いじめに関する指導や支援の体制、対応方針の決定
 - ・保護者との連携
- ☐ 関係機関への協力要請
- ☐ 取組の点検（学校評価への位置づけを含む）

関係教員

- ・担任
- ・教科担任
- ・部活顧問
- ・養護教諭等

報告
連絡
相談

窓口
：
教頭

認 知

外部人材

- ・スクールカウンセラー
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・スクールサポーター

関係機関

- ・教育委員会
- ・警察
- ・家庭・地域・学校協議会
- ・民生児童委員 等
- ・PTA
- ・医療機関
- ・児童相談所

いじめ対応サポート班（特設）

生徒指導主事

学年主任、担任、教育相談担当者、養護教諭、スクールカウンセラー 等

- ☐ 対応策の立案・実行
- ☐ 関係者からの聴取（事実確認）
- ☐ 関係児童への指導・支援
- ☐ 関係保護者への対応
- ☐ 関係機関との連携（必要に応じて、警察への協力要請）
- ☐ 対応状況の報告と今後の具体的な指導・支援方針の提案

	教員の動き	生徒の活動		
		1年生	2年生	3年生
4月	いじめ対策委員会 - 基本方針確認 - 年間計画策定 - いじめアンケート 職員会議 - 年間計画周知 - 教員の意識点検 主任会 - 毎週月曜1限目開催 いじめ対策サポート班 - 起きたとき即対応	学級づくり（グループエンカウンター） インターネット通信の利用ガイド - 入学式時に保護者 - 保護者へのお願い 1人1分面談 中学生としての心構 いじめアンケート調査		
5月	いじめ対策委員会 - いじめアンケート調査、ハイパーQ Uをもとに状況把握 主任会 - 毎週月曜1限目開催 - 欠席者、気になる事例の確認 PTA総会（5月） 基本方針の公表	いじめアンケート調査 ハイパーQ U調査① 生徒総会 - 自主的な活動 - 絆づくり - ボランティア推進 校外学習 - 自主的計画・運営 - コミュニケーション活動の工夫 - 絆づくり 校外学習 - 自主的計画・運営 - コミュニケーション活動の工夫 - 絆づくり 修学旅行 - 自主的計画・運営 - コミュニケーション活動の工夫 - 絆づくり		
6月	いじめ対策委員会 - アンケート調査や教育相談をもとに状況把握 主任会 - 毎週月曜1限目開催 - 欠席者、気になる事例の確認 授業研究 - 授業改善・学習規律	いじめアンケート調査・中学校区教育アンケート 教育相談週間・家庭訪問週間 合唱コンクールに向けて - 絆づくり - リーダーの存在感 アサーションを通して、人間関係の構築を考える		

	教員の動き	生徒の活動		
		1年生	2年生	3年生
7月	いじめ対策委員会 - 定期的に状況把握 - 夏季休業前指導 主任会 - 毎週月曜1限目開催 - 欠席者、気になる事例の確認 保護者会 - 情報や意見収集	文化祭・体育祭計画～学校祭を成功させよう～ - コミュニケーション力育成 - リーダーの存在感 - 絆づくり インターネット通信の利用ガイド 部活動ボランティア奉仕活動 - 体験的な活動 - 絆づくり - リーダーの存在感 いじめアンケート調査		
8月	いじめ対策委員会 7月までの取組の分析をもとにした振り返り 1学期後半に向けて ↓ 職員会議 重点事項確認	気になる生徒宅への家庭訪問 母校奉仕活動 - 体験的な活動 - 絆づくり - リーダーの存在感 地域ボランティア奉仕活動（資源回収） - 体験的な活動 - 絆づくり - リーダーの存在感		
9月	いじめ対策委員会 - いじめアンケート調査をもとに状況把握 主任会 - 毎週月曜1限目開催 - 欠席者、気になる事例の確認	文化祭・体育祭計画～学校祭を成功させよう～ - コミュニケーション力育成 - リーダーの存在感 - 絆を強める いじめアンケート調査		

	教員の動き	生徒の活動		
		1年生	2年生	3年生
10月	いじめ対策委員会 ・アンケート調査、ハイパーQ Uをもとに状況把握 主任会 ・毎週月曜1限目開催 ・欠席者、気になる事例の確認	いじめアンケート調査・中学校区教育アンケート ハイパーQ U調査②		
		校外学習 ・自主的計画・運営 ・コミュニケーション活動の工夫 ・絆づくり	職場体験 ・コミュニケーション活動の工夫 ・絆づくり	
		生徒総会 ・自主的な活動 ・絆づくり ・ボランティア推進		
11月	いじめ対策委員会 ・アンケートをもとに状況把握および比較 主任会 ・毎週月曜1限目開催 ・欠席者、気になる事例の確認	いじめアンケート調査 教育相談アンケート		
	人権教育・人権週間	校内人権週間の取組 ・全校一斉道徳 ・生徒会、学級人権スローガン作成 ・人権作文紹介（放送部） ・人権集会 ・授業公開 ・人権に関する図書コーナーの設置		
	授業研究 ・授業改善・学習規律	エコグラム ・自己理解他者理解 ・絆づくり	啓発録作成に向けて ・地域偉人にふれる ・五訓理解 ・絆づくり	ストレスマネジメント ・コミュニケーション活動の工夫 ・絆づくり
	情報発信 ・家庭・地域・学校協議会		ひまわり教室	
12月	いじめ対策委員会 ・アンケートをもとに状況把握および比較 主任会 ・毎週月曜1限目開催 ・欠席者、気になる事例の確認	いじめアンケート調査		
	保護者会 情報交換	地域公民館清掃ボランティア ・体験的な活動 ・地域の方々との絆づくり		

	教員の動き	生徒の活動		
		1 年生	2 年生	3 年生
1 月	いじめ対策委員会 - いじめアンケート調査をもとに状況把握 - 年間の振り返りと次年度に向けて ↓ 職員会議 - 重点事項確認 主任会 - 毎週月曜1限目開催 - 欠席者、欠席者、欠席者	いじめアンケート調査		
2 月	いじめ対策委員会 - 定期的に状況把握 主任会 - 毎週月曜1限目開催 - 欠席者、欠席者、欠席者 立志式 情報発信 - 家庭・地域・学校協議会 - 安心安全ネットワーク会議	情報モラル講習会 - 情報モラルや正しいコミュニケーションの指導 新入生体験入学 - 新たな絆づくり - 小学生との交流	エコグラム - 自己理解他者理解 - 絆づくり	
		立志式の実施および参加 - 絆を深める - リーダーの存在感		
		いじめアンケート調査・中学校区教育アンケート		
3 月	学校評価分析 いじめ対策委員会 - 年間の振り返り - 新年度に向けて計画見直し ↓ 職員会議 - 課題確認 - 計画確認 主任会 - 毎週月曜1限目開催 - 欠席者、欠席者、欠席者	いじめアンケート調査		
		3 年生をおくる会 - 感謝の心 - 次の学年の自覚		
		2 年生に向けて 次の学年の自覚	修学旅行に向けて - 自主計画・運営 - コミュニケーション活動の工夫 - 絆づくり	校内奉仕活動 学校に感謝して